

組員・花若のみなさんへ

[西洋音楽を勉強して職業的作曲家になっちゃうと あまりいい音楽はつukれないよ] っていう話

2025. 10. 12

@Studio Terra

山城祥二



ウィキペディア
フリー百科事典

音楽ってなんだ I 近現代文明では

音楽

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

音楽（おんがく、英語: Music、フランス語: Musique、イタリア語: Musica、スペイン語: Música）とは、音による芸術である。音楽はあらゆる人間社会にみられる普遍文化だが^[2]、その定義は文化によって様々である^[3]。音楽は先史時代から存在したとされる。

定義

→詳細は「音楽の定義」を参照

広辞苑では「音による芸術」と定義されている。

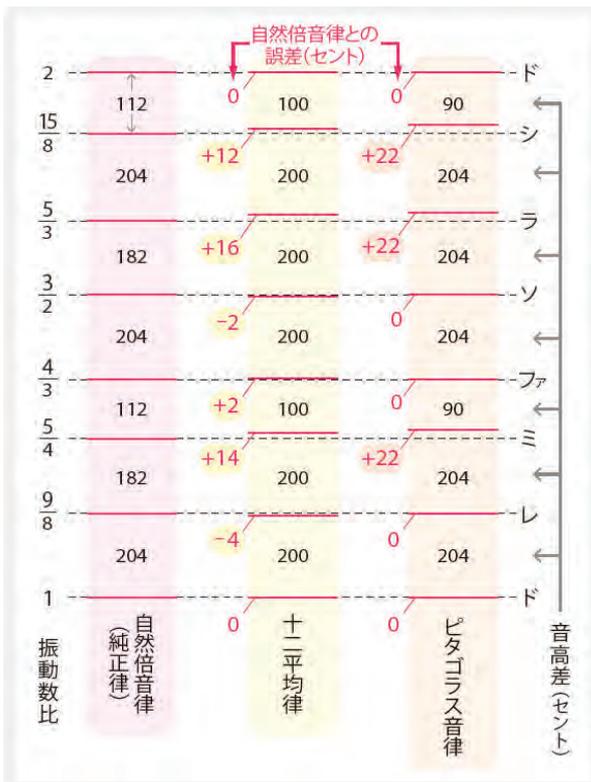
4世紀古代ローマの哲学者、アウグスティヌスの『音楽論』では「Musica est scientia bene modulandi（音楽とは音を良く整えるスキエンティア^[注1]である）」とされた^[4]。ジョン・ブラッキングの書では「人間が組織づけた音^[5]」とされた。ジョン・ケージは「音楽は音である。コンサートホールの中と外とを問わず、われわれを取り巻く音である。」と語った。

西洋音楽における音楽の定義

西洋音楽では、次の3つの要件が必要であるとしている。1.材料として音を用いる。2.音の性質を利用して組み合わせる。3.時間の流れの中で素材（音）を組み合わせる。そのため、リズム（律動）、メロディー（旋律）、ハーモニー（和声）をもつものが音楽とされる。



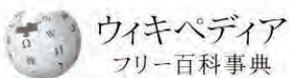
アヴェ・レジナ・チェロルム（パレストリーナ作曲）の一部
（大橋力「脳のなかの有限と無限」第22回、科学、2011）



(大橋力「脳のなかの有限と無限」第29回, 科学, 2013)

十二平均律ではオクターブ以外のすべての音高が誤差をもっている

音楽ってなんだ II 音楽の種類によらない定義



ウィキペディア
フリー百科事典

音楽の定義

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

この項目では音楽の定義について扱う。
音楽の定義については様々なことが言われてきた。本項目では音楽の種類によらない普遍的な定義と、ある種の音楽についてだけ説明している定義を示す。

音楽の種類によらない定義

- ・ (4世紀の哲学者、アウグスティヌス) 「musica est scientia bene modulandi 音楽とは音を良く整える知^[注1]である」^[1]
- ・ (ジョン・ケージ) 「音楽は音である。コンサートホールの中と外とを問わず、われわれを取り巻く音である。^[2]
- ・ 「音楽とは、人間が組織づけた音である」 (ジョン・ブラッキング 『人間の音楽性』^[3])

A Tranquillo (♩=100) RONDES PRINTANIERES
FL.
P.(G)
Cl.(B)
Cl.B.

B Sehr langsam (♩=100) Fünf Klavierstücke Op.23 Five Piano Pieces Op.23

C I
TAGET
II
TAGET
III
TAGET

D

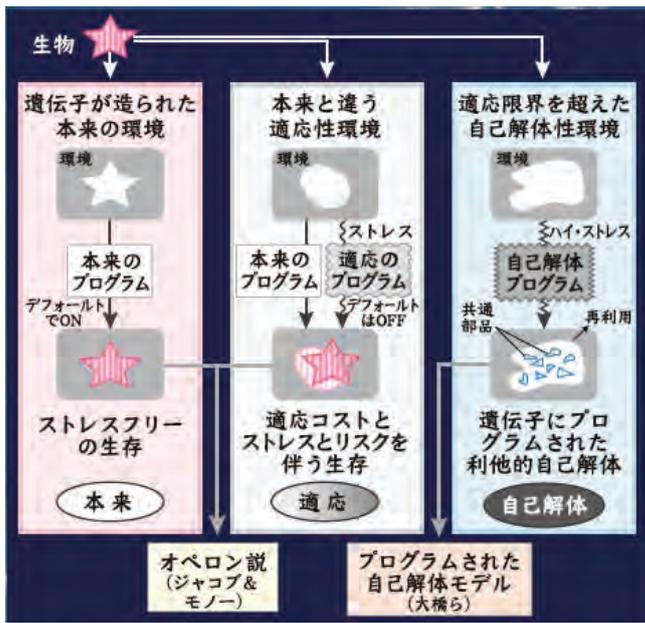
E

A イーゴリ・ストラヴィンスキー『春の祭典』(1913) (Bossey & Hawkes)
B アルノルト・シェーンベルク『5つのピアノ曲 Op.23』(1923) (Wilhelm Hansen)
C ジョン・ケージ『4分33秒』(1952) (Peters)
D ジョン・ケージ『Variations II』(1958) (Peters)
E ローマン・ノッペンシュトック『ニラマティ』(Konstellationen) (1971) (GALERIE ARIADNE)

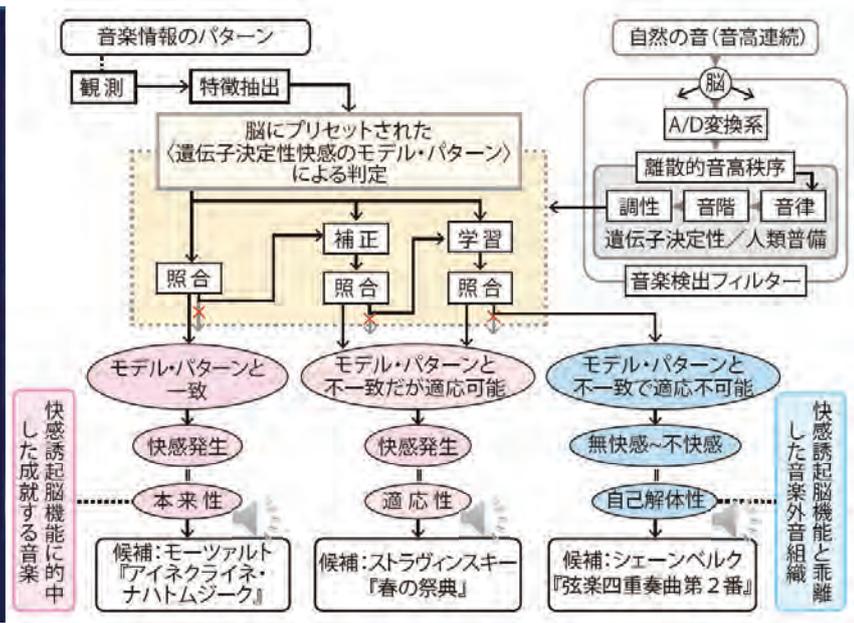
混迷を深めていく現代音楽の「楽譜」

(大橋力「脳のなかの有限と無限」第35回, 科学, 2014)

“環境”を“音楽”に読みかえると



地球生命の〈本来・適応・自己解体モデル〉
(大橋力「利他の惑星・地球」第13回、科学、2020)

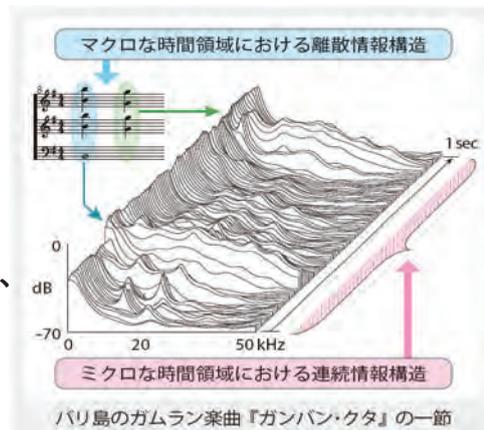


音楽情報から快感を発生させるパターン認識
(大橋力「脳のなかの有限と無限」第35回、科学、2014)

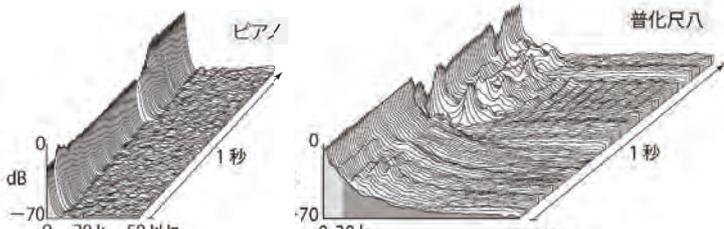
音楽ってなんだ Ⅲ山城祥二の考える音楽とは

[音楽とは、特異的に持続し、ミクロな時間領域では連続して変容する情報構造をとり、マクロな時間領域では文化という脳機能体系によってコード化された離散情報構造をとり、脳の聴覚系と報酬系とを活性化させる音の人工物である]

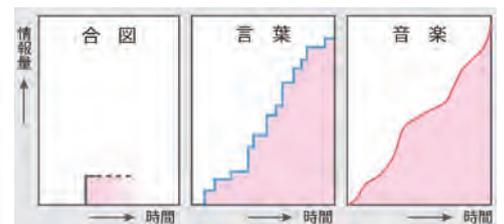
(大橋力「脳のなかの有限と無限」第37回、科学、2015)



バリ島のガムラン楽曲『ガンバン・クタ』の一節 (同第36回、科学、2015)



ピアノの音、普化尺八の音の最大エントロピースペクトラルレイ (MESAM)
(大橋力『ハイパーソニック・エフェクト』岩波書店、2017)



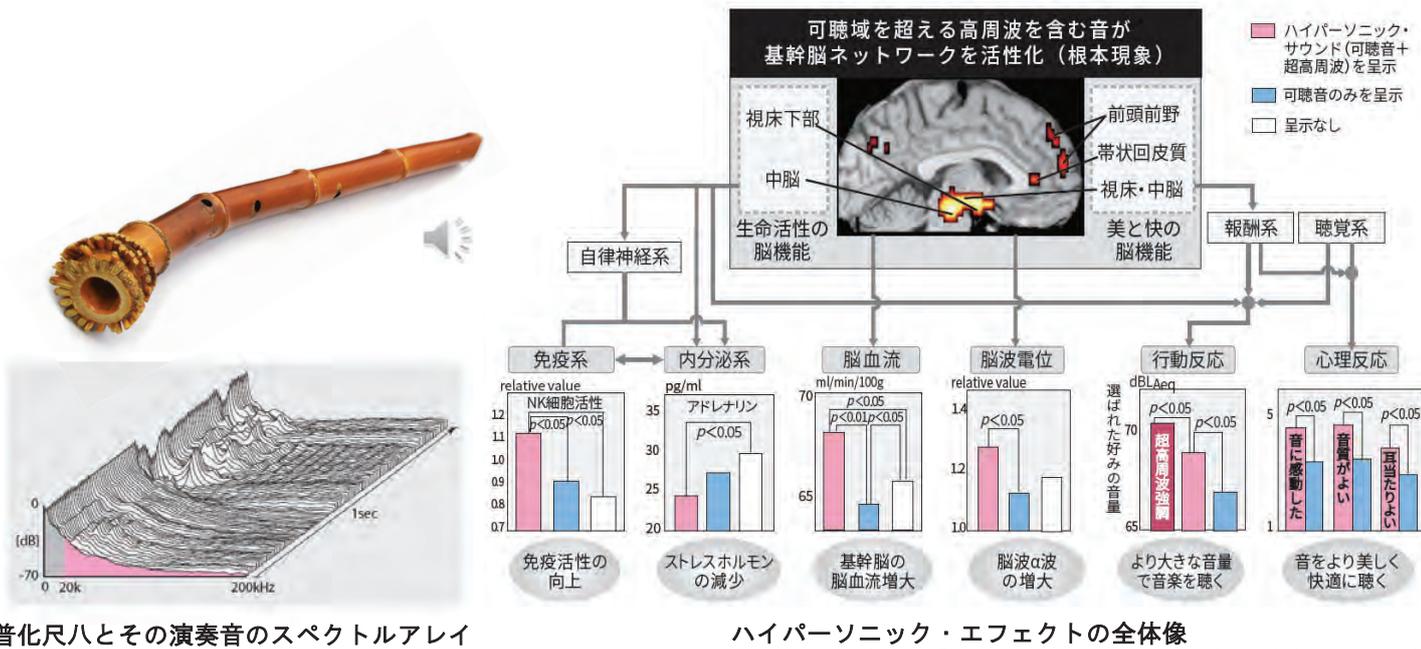
人類が音を媒体として行う情報伝達の三つの方式
(同第36回、科学、2015)



好みの音楽を聴いて「身震いする」ほど感動した時に活性化された脳

(同第37回、科学、2015)

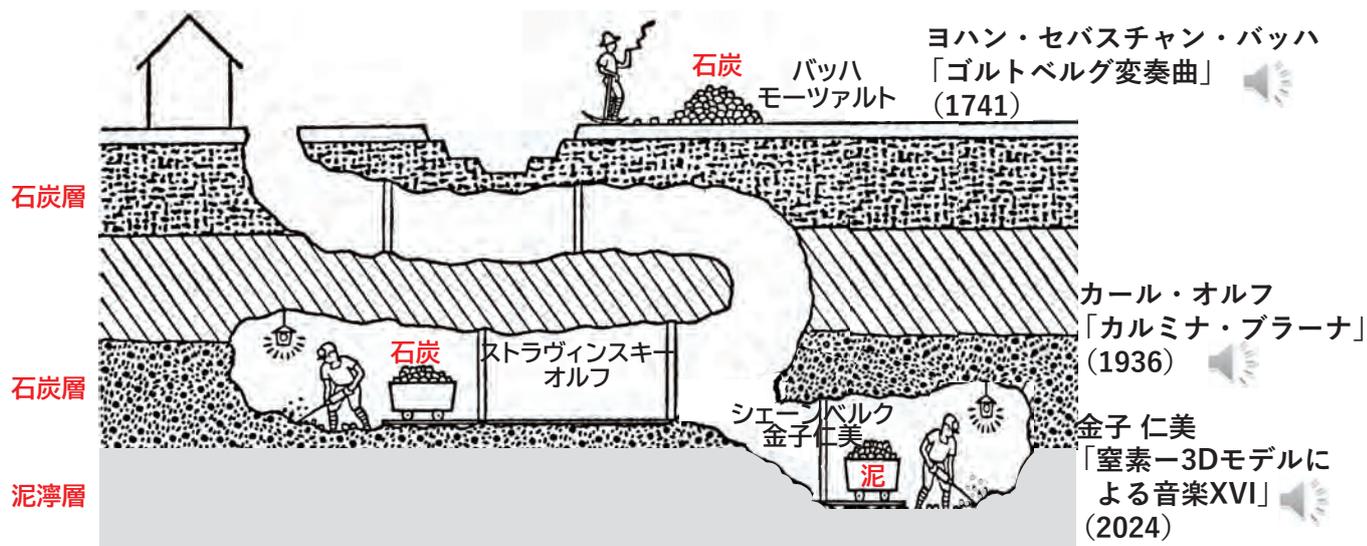
楽譜に表現できない超知覚情報の効果



普化尺八とその演奏音のスペクトルアレイ
(大橋力「脳のなかの有限と無限」第37回, 科学, 2015)

ハイパーソニック・エフェクトの全体像
(大橋力『ハイパーソニック・エフェクト』岩波書店, 2017を改図)

露天掘りから始まる採掘



(大橋力『情報環境学』朝倉書店, 1989を改図)